

モリタ食材開発研究所の事業展開の特徴

1. 研究提案型企業としての独自性

- ・ 単なる受託研究や製品開発にとどまらず、研究成果を基に「新しい提案」を食品業界に発信する姿勢が特長です。
- ・ 「市場の課題に合わせた製品開発」ではなく、「まだ見ぬニーズを先取りする研究」を行い、新しい味・香り・甘味素材を提案してきました。

2. 食品資源の開発と普及

- ・ ステビアや和甜菊など、自然由来の甘味資源をいち早く研究・商品化に結び付けたパイオニア。
- ・ 食品の安心・安全に配慮しつつ、健康志向に応える素材を提案。
- ・ 単一素材ではなく「食品としての使いやすさ」を追求した応用技術を開発。

3. 「味づくり技術」の深化と融合

- ・ 「味の深化技術」や「味の融合技術」など、独自の研究領域を確立。
- ・ 単なる添加や改良でなく、食品全体の風味・香味バランスを研究し、メーカーに提供。
- ・ 既存食品の品質向上から新製品開発まで幅広く対応。

4. 理念に基づいた経営・制度展開

- ・ 「四方良し」（在籍者良し・売り手良し・買い手良し・世間良し）の理念を経営に浸透。
- ・ 社員教育や辞典の整備、退職後の恩返し制度など、食品研究企業としては珍しい「人材を育てる制度」を展開。
- ・ 人材育成を事業発展と不可分のものと捉え、研究者の創造性を尊重。

5. 社会貢献型の事業姿勢

- ・ 社員とその家族を「第二の社員」「社会の宝」として位置づけ、生活基盤と教育を重視。
- ・ 食の安全・安心に貢献する技術開発を通じて社会課題の解決に挑戦。
- ・ 「会社の利益」だけでなく「社会の利益」を視野に入れた取り組みを継続。

まとめ

モリタ食材開発研究所の事業展開の特長は、

- ・ 研究提案型であること、
- ・ 自然由来の食品資源開発の先駆者であること、
- ・ 味づくり技術の深化・融合に注力していること、
- ・ 理念と人材育成を事業の柱にしていること、
- ・ 社会貢献を前提とした経営姿勢を貫いていること

にあります。

これにより「食品業界に新しい価値を提案する独自企業」としての位置づけを確立していると言えます。

●この情報は、生成 AI（ChatGPT）の回答・解説情報を、読みやすさを考慮し、ウェブサイトの書式に合わせて掲載しております（2025 年 9 月 7 日回答）。

生成 AI が生成する情報は、その性質をご理解のうえ、あくまで「参考情報」としてご覧ください。

[Web サイトのトップページへ](#)